

浮氣稻荷大明神 初午当番心得(改訂版)

平成30年2月7日

1 前日の買い物

ネ申食巽物

水・塩・洗い米各少々 剣先するめ1袋（2枚入り） ☆袋詰め茶菓子（みかん1個
バラ菓子何種類かをばらしてセットにする ペットボトルのお茶(小)1本）30袋ほど
用意する 餅（紅白重ね）紅白2段1組（5尺：どら焼きの大きさ：総代より丸善さ
んに依頼済み）大根1本 人参1本 白菜1/2個 こぶ1枚 のり1袋 酒1合1本

2 準備

朝8時より掃除と飾り付け

稻荷神社は左の赤い社の方

(1)境内右の鳥居より稻荷さんまでの参道の掃き掃除
と社の廻りを掃く。

(2)社の屋根と神殿を拭き掃除をする。

(3)鳥居に赤い提灯を下げる。（社務所押入段ボール
保管してある）幟旗（竜生会館保管）

(4)飾り付けをする。（社務所押入の段ボールに
初午用具一式が入っている

・賽銭箱も）…写真の通り

幟旗



(5) 神饌物を供える



(6) 参拝者への接待

- ・参拝者へはお茶の接待を行う。
- ミカンと小袋の菓子を渡す。
- (子どもさんへも同様にする)

(7) 当番はお稲荷さんの社の前に位置し、出迎えるのが望ましいが、可能であれば手水舎もしくは寒いさが厳しい場合は社務所で受付をする。外の状況を把握しながら接待する。時々猫などに荒らされないよう目を配る。賽銭はその都度手元の箱などに保管する。

(8) 12時から後始末にかかる。

(9) お下がりは当番で分けていただく。

(10) 志納金はまとめて神社総代に渡す。

立替分の領収書と参拝者名簿を総代に渡し後日、
社総代会計担当から立替分を返金してもらう。



神